

令和8年度

清水特別支援学校 交流及び共同学習だより No.2

～ 今回は中学部の交流及び共同学習についてお知らせします ～

体育での交流及び共同学習



中学部2年生5名が、「地域の同年代の友達と共に落ち着いて活動に取り組む中で、友達に関わったり、友達からの関わりを受け入れたりする」ことをねらいとして、清水中学校と交流及び共同学習を行いました。

4月21日、5月26日、6月30日、7月7日、7月14日にマイクロバスで清水中学校に行き、2年C組の体育の授業に参加しました。4月は距離走、5月は体力測定、6月・7月は卓球の単元に参加しました。居住地校交流と違って友達と一緒に相手校に出向くため、リラックスして活動する様子が見られました。卓球は、交流以外に本校の体育や休み時間にも練習を重ね、ぐんぐん上達しました。最終日には、清水中の生徒とラリーをしたり、簡単なゲームをしたりするなど、一人一人のねらいを達成することができました。



回数を重ねるごとに慣れ、広い体育館で、思い切り体を動かしました。



文化委員会との交流



7月14日に、中学部全員がタクシー4台に分乗し、清水中学校に行きました。文化委員会にペットボトルのキャップを渡し、ペットボトルを受け取りました。清水中学校の文化委員会では、キャップを収集し、そのリサイクルで発生した利益を発展途上国の子ども向けワクチン代として寄付する「エコキャップ運動」に取り組んでいます。本校中学部は作業でペットボトルのリサイクルに取り組んでいます。

事前に、本校の教員が清水中学校へ出前授業に行き、文化委員会に本校生徒の様子や合理的配慮についての説明を行いました。また、本校生徒も事前学習を行い、当日の様子を思い浮かべながら、自己紹介の練習やキャップとペットボトルの受け渡しの練習をしました。12月にも同様の活動を行う予定です。



初めて清水中学校を訪れた生徒は緊張しながらも、しっかり受け渡しことができました。
最後に、作業学習で作ったメモ帳をプレゼントすると、喜んでもらえました。



美術部との交流

一人ひとりが自信を持って取り組むことができました。清水中学校美術部の生徒は、本校が出前授業を行って作り方を伝えたところ、作品の構想を考えて作品作りに臨んでくれました。

できあがった作品は、清水中学校の文化祭、本校のしみずっこのつどい、清水町の秋の文化祭「きららフェスティバル」で展示する予定です。

夏季休業中の7月21日に、清水中学校の美術部と本校中学部1年生・3年生が花をモチーフにしたコラージュ作品を共同で制作しました。本校生徒はあらかじめ美術の時間に制作を行ったことで、



花のモチーフ作り。素材や色を相談しながら制作しました。制作の過程で、言葉を交わす姿が見られました。



キャンバスの絵は美術部生徒が描いてくれました。

【清水中学校 美術部の感想】

- ・できないことをやってあげるのではなく、サポートしてあげることが大切だと分かりました。
- ・花を作るとき、一人一人の気持ちや思いが込められて、それぞれが違った素敵な花が作られていたので見ていて楽しかったです。
- ・工作で、話しながら作ったり、貼り付けたりしたことが新鮮で楽しかったです。
- ・始めは仲良くできるか心配だったけど、声を掛けてくれて、名前も呼んでくれてうれしかったです。

